



「軌跡」

伊藤家 明治の絵葉書展

6代伊藤文吉時代の実遞便

平成23年

11月3日(木・祝)

～11月29日(火)

午前9時～午後5時

午後5時に閉館します。

180点を初公開

会場 北方文化博物館 屋根裏ギャラリー (正門受付向い)

料金 北方文化博物館入館料 (大人800円 小人400円)

この料金で館内同時開催の「細江英公人間写真展『気骨』」、今成家写真『明治人』草莽の人々」等が全てごらんになれます。

■ 11月3日(木・祝) 午前11時より対談「伊藤文吉館長&細江英公 写真を語る」(館内同時開催)

■ 11月23日(水・祝) 午後2時より堀川久子舞踏「空と地のあいだに」(館内同時開催)

主催: 財団法人北方文化博物館/新潟大学人文学部 協力: 清里フォトアートミュージアム/細江英公写真芸術研究所

後援: 新潟県教育委員会/新潟市教育委員会/新潟日报社/読売新聞新潟支局/朝日新聞新潟総局/産経新聞新潟支局/毎日新聞新潟支局/月刊にいがた NHK新潟放送局/BSN新潟放送/NST/TeNYテレビ新潟/UX新潟テレビ21/エフエムラジオ新潟/FM PORT 79.0/ラジオチャット・エフエム新津

「軌跡」

伊藤家 明治の絵葉書展
6代伊藤文吉時代の実逋便
180点を初公開

昨年、北方文化博物館において6代伊藤文吉夫人真砂（まさご）が保管していた絵葉書群1200点が発見されました。これらは実際に使用された実逋便であり、真砂の実家である村山家（柏崎市）や伊藤家の親戚斎藤家（新潟市）との交流を示し、また当時の郵便事情を知る上で貴重な資料です。

この度、発見されたうちから180点を選び公開いたします。書きつけられた文字や書面には、親類縁者の血の通った関係性や個々の品格までもが息づいており、一方、昔の写真や絵からは、見る者の心が瞬間的に洗われていく爽快感があります。

明治時代のパーソナルコミュニケーションである絵葉書文化の世界をどうぞご覧ください。

会場：北方文化博物館 屋根裏ギャラリー（正門受付向い）



年賀状



薔薇の花



新潟万代橋通之景

新潟大学人文学部では、北方文化博物館における絵葉書の調査を、北方文化博物館との協力のもと、文部科学省大学教育推進プログラム「社会をひらく『きづく力』と『つなぐ力』～社会に見える実践的人文知の涵養と発信～」の一環として行い、その教育・研究成果として今回の絵葉書展も行っています。

すべての展覧会が、以下の日程です。

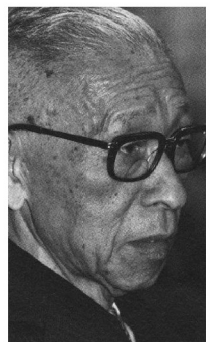
11月3日（木・祝）～ 11月29日（火）

午前9時～午後5時（午後5時で閉館します。会期中は無休です。）

料金 北方文化博物館入館料 大人800円 小人400円

平成29年

北方文化博物館の入館料のみで
全ての展覧会がごらんになれます。



松下幸之助



大屋晋三ご夫妻

われらが父、われらが祖父。「気骨」 細江英公人間写真展

思い出せ日本人の気骨、取り戻せ自恃の心一焦土の中から驚異的復興の土台を築き、日本社会を牽引した経済界のトップリーダーたち34人の面魂が蘇る！世界的写真家であり、昨年文化功労者として顕彰された細江英公氏が10年の歳月をかけて撮影した貴重な写真群を歴史的ヴィンテージ写真パネルで一挙に公開展示する画期的展覧会。

会場：北方文化博物館 大広間

「草莽」今成家写真 「明治人」草莽の人々 一新潟発、写真の黎明

会場：北方文化博物館 母屋台所

細江英公人間写真「気骨」は、明治生まれの政財界人を題材にし、気骨とは何かを問う写真です。氏の意図するところは、著名な政財界人を撮ることにあるのではなく、日本人の中に脈々と流れる骨太な精神性を明らかにしようとするものです。

ここ、新潟の暮末にも、自らカメラを持って自分たちの姿を写し撮ろうとした自由闊達な精神が、在野に生きる人々の矜持と誇りを捉えました。

今、新潟で、時を越え、氏の写真と共に、その精神が蘇ります。



総合プロデューサー・ディレクター：石井仁志

（北方文化博物館 交通案内図）



お問い合わせ

ほっぽう

北方文化博物館

新潟県新潟市江南区沢海2丁目15-25

TEL.025-385-2001 FAX.025-385-3929

URL. <http://hoppou-bunka.com>